

北薩の輝き

北薩教育事務所便り

平成29年度 第3号 9月5日発行

所在地：薩摩川内市隈之城町228-1

☎：0996-20-8772

FAX：0996-25-3095

良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

品格を身につける

「花も生きているんやから、水に入れてあげなさい。」と、監督の厳しい言葉。とっさに「花を入れる容器がありません。」と言い訳をする選手たち。その言い訳に「少しは考えなさい！」と怒りを倍増させ声を荒げる監督。これは、ある国際大会で勝利した者に贈られる花束が無造作に部屋に放り出されているのを見つけた井村雅代さんが、「不屈の魂」の書で著した一節です。

その後、井村さんは、ペットボトルの上部を切り取った即席の花瓶の作り方や試合後、花束に「ありがとう」の言葉を添えて、お世話になったコーチやトレーナーに感謝の気持ちを伝えることなどを指導しました。現在、日本チームの選手たちは、それを伝統として実践しています。

井村さんは、「日本シンクロナイズドスイミングの母」と呼ばれ、昨年のリオ五輪で監督として日本を銅メダル獲得に導いたことは、記憶に新しいところです。厳しい指導には定評がありますが、勝負だけにこだわらず、人を育て、心を育てることを大事にしているすばらしい指導者です。

昨今、保護者をはじめ、私たち教育に携わる者は、子供たちに「寄り添う」ことを大事にするようになってきました。子供からじっくり話を聞き、個々の実態に応じた助言をし、共感しながら、しつけや指導に当たっています。反面、目の前の課題解決のみに心を奪われ、子供の気持ちを大事にし過ぎるあまり、「その場、その時で教えるべき常識や厳しさ」といった、将来、大人になった際の「品格を育む営み」が少なくなってきたように感じます。教育は先が長い働きかけであり、結果や成果がすぐに出るものではありません。子供たちを称賛し伸ばすことは、大切なことですが、子供たちが良識ある大人となることをゴールとするならば、今、しつけるべきはしつけ、教えるべきは教えることが、先にあるゴールを手前に引き寄せることになるのではないかと・・・。

井村さんはこう続けます。「花を水にもつけず、その辺に置いておく子に、人を感動させる美しい演技ができますか。私は、選手にトップアスリートとしてのパリッとした品格を身につけてほしいんです。」

北薩教育事務所
所長 木之下 浩一

主体的・対話的で深い学び [薩摩川内市立城上小学校]

本校は、平成29年度から複式学級が設置されました。少ない人数でも多様な意見や考えを引き出すとともに、ガイド学習を分かりやすく進めていくために次のようなことに取り組んでいます。

発表ボードの活用（6年生）「道徳」



発表ボードで思いを伝え合う様子

話し合いの前に自分の意見をホワイトボード（縦横20cm程の市販品）に簡潔にまとめさせます。それを提示することで互いの考えを知り、自分の考えと比較したり、修正したりしながら話し合いを深めています。

ボードの活用により、児童は自分の考えをもって授業に臨もうとする意欲が高まり、発表の理由を説明できるようになってきました。また、中心発問ファイルは、一単位時間で完結する授業の実現だけでなく、単元全体の見通しをもち、各単元を系統的に捉えて指導することにも役立っています。

「複式学習指導」 中心発問ファイルの作成（3・4年生）



授業参観でのガイド学習の様子

一単位時間毎に考えさせること、指導すべき内容、中心発問等をA4・1枚にまとめて綴っています。中心発問を明確にしておくことで、ねらいからそれずに授業を進めることができます。

〈教育事務所から〉

城上小学校では、多様なホワイトボードを工夫して活用し、子供の思考を「見える化」させ、その変容を捉えやすくしています。

また、中心発問ファイルの蓄積は、まさに授業の積み重ねであり、学校の宝になっています。

外国語活動の充実～来年度に向けた準備は進んでいますか？～

本年3月に新学習指導要領が告示され、小学校では、5・6年生で教科としての「外国語科」が導入されることや、3・4年生で「外国語活動」が導入されることなど、大きな変更点が出されました。来年度4月からの移行期間に向けて、計画的な準備を早めに進めていきましょう。

- **授業時数の確保は？**（新たに15単位時間が加わります）
平成30・31年度の外国語活動の時数は、3・4年生が15時間、5・6年生が50時間を標準とし、特に必要がある場合には、年間総授業時数及び総合的な学習の時間の授業時数から15単位時間を超えない範囲内の授業時数を減じることができるとされています。
- **新しい指導計画や教材に関する資料は？**
各学校で、年間指導計画や学習指導案を作成する際の参考に、「小学校外国語教育に係る新教材関係の資料（暫定版）の配布について」（8月22日付義務教育課）を御活用ください。特に、新教材整備等の実施スケジュールをしっかりと確認し、共通理解を図ってください。

小学校「外国語」教科化に向けた指導力向上のための取組

北薩教育事務所では、英語教育推進の中心となることが期待される小学校教員と英語担当中学校教員を対象に「英語教員スキルアッププロジェクト」を開催しました。小学校は英語と日本語で、中学校は全て英語で、3日間、ワークショップ形式の参加型学習で研修を行いました。受講者からは「子供たちが楽しいと実感する気持ちを味わえた（小）」、「授業に生かせるものがたくさんあったのでありがたかった（中）」等の感想がありました。受講者は今後、その成果を自校の校内研修等で還元させていく予定です。



研修の様子【小学校】

平成29年度 研究公開（県・地区指定）

地区指定	長島町立平尾小学校	平成29年10月26日(木)
算数科	生き生きと学び合い、思考力・表現力を育む算数科学習	
地区指定	さつま町立中津川小学校	平成29年10月31日(火)
少人数・複式学習指導法	自分の思いや考えをもち、進んで表現できる児童の育成	
地区指定	薩摩川内市立川内南中学校	平成29年11月15日(水)
学力向上	夢かなえる 力はぐくむ 心豊かな生徒の育成	
地区指定	阿久根市立山下小学校	平成29年11月28日(火)
道徳	多様な価値観に気付き、よりよい生き方を自ら追求する児童の育成	
県指定	長島町立鷹巣中学校	平成29年12月1日(金)
たくましく「かごしまっ子」育成推進	運動の楽しさや喜びを味わい、積極的に体力づくりに取り組む生徒の育成	
地区指定	長島町立蔵之元小学校	平成30年1月25日(木)
国語科	書くことで思いや考えを明確に表現できる力を付ける国語科学習	
県指定	阿久根市立阿久根中学校	平成30年2月9日(金)
キャリア教育	「ひとみ輝く」生徒を目指し、自分らしい生き方を実現するキャリア教育の実践	

授業力向上のために、各研究指定校の「練られた授業」を是非ご覧ください。

「体力アップ!!チャレンジかごしま」への積極的な取組を

体力の向上だけでなく、学級づくりや、児童生徒が目標に向かって努力する「実体験の場」としても有効に活用され、昨年度も地区内のほとんどの学校で取り組まれました。今年度も「チャレンジかごしま」を活用し、児童生徒の体力・運動の向上に向けた取組をお願いします。申告締切りは小・中学校等共に12月26日（火）です。

長島町立鷹巣中学校「チャレンジかごしま」への取組コーナー

薬物の乱用は、あなたとあなたの周りの社会をダメにします

本県における薬物事犯は増加傾向にあり、平成28年の検挙者数は74人にも上ります。薬物の乱用は健康に悪い影響を及ぼすとともに、社会全体に計りしれない害悪をもたらします。

特に教職員としては、危機感・使命感を一層高めるとともに、正しい知識を身に付け、甘い誘いに乗らず、絶対に使用しないという決意が大切です。

薬物を始めるきっかけとは・・・

- 「1回だけなら大丈夫」等甘い誘い
- 覚せい剤はだめだけど危険ドラッグなら大丈夫
- 合法と書いてあるから処罰されない
- ダイエットに効く、肌がきれいになる

教職員は子供たちに薬物の危険性等、正しい知識を身に付けさせる立場にあります。その立場にある私たちが薬物を使用することは決して許されません。

「ダメ。ゼッタイ。」と断る勇気をもちましょう!

授業で実践!!ワンポイントアドバイス⑥

子供の変化に気付く。

「言いたい。(発言したい。)」と思ったとき、人の動きは微妙に変わる。背筋が伸びる。手や指が動く。頭が傾く。表情が変わる。その変化を見逃さないことだ。「〇〇さんは、どう思いますか。」と発言を促してみる。子供の意見を「つなぐ」ために、必要な技術である。

編集後記

育成すべき資質・能力を育むためには、学びの質の向上が重要です。その向上のためには、先生方一人一人の創意工夫がより一層必要となります。今号では、薩摩川内市立城上小学校の授業改善の実践を紹介しました。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組んでいきましょう。